



「ミニバイオひろば」開催 - 最新の研究情報を発信 -

概 要

平成22年12月2日(日)に、研究者や大学院生、部活動で生物研究に勤しんでいる高校生とのコラボレーション「ミニバイオひろば」を開催します。九州大学大学院農学研究院の教員を中心に研究者が集結し、身近な食品(お米や発酵食品等)、健康、生態系、カイコやヒトゲノムなど多岐にわたる研究の最新情報を発信します。

■背景

文部科学省科学研究費特定領域研究の支援のもと、2002年から全国のゲノム研究者による「ゲノムひろば」を開催してきました。これは、様々な生物を多角度から検証するゲノム研究について、試料・模型等の展示やコンピュータシミュレーション等を駆使し、一般の方々に分かりやすく最新の研究情報の発表を行い、また、一般市民の方々との対話を通じて、「サイエンス」のおもしろさを知っていただくものです。これにより、研究者と社会の繋がりをより密にし、多くの一般市民の方々との触れ合いを実現することができました。このような活動を続けていく中で、特に高校生や高校の先生方とのより緊密な交流が芽生えました。4年前からは、「ミニゲノムひろば」と称して、研究者だけではなく福岡県下の高校生も参加し、授業や放課後の部活動での生物研究発表を行い、研究者と高校生との交流もより深まってきました。この築かれた交流関係を継続させたいという高校側と研究者の声を、日本農芸化学会西日本支部に聞き入れていただき、支援いただくことになりました。九州大学大学院農学研究院等に所属する「バイオ」研究者を中心に、福岡県高等学校生物部会の協力を得て、研究者と高校生との研究発表を行います。

■内 容

日本農芸化学会西日本支部の支援を得ながら、九州大学大学院農学研究院所属の研究者が中心となって、「バイオ」サイエンス分野(農芸化学分野)の老化メカニズム・アンチエイジング、がんワクチン療法手法、生活環境、食品栄養(乳酸菌やアミノ酸)、カイコの突然変異体コレクション、イチゴあまおう研究、発酵・醸造食品や医薬品研究等の最新の研究情報をポスター等を使って分かりやすく紹介します。学校の授業では学ぶことができない「サイエンス」のおもしろさが体感できます。高校生による研究発表も同時に行い、高校生と研究者の情報交換も行われます。

ミニバイオひろば

【日時】平成22年12月12日(日) 11時~16時

【会場】九州大学国際ホール(箱崎キャンパス内)

【参加対象】一般市民 【参加費】無料

■効 果

多くの一般市民の方々や近年「理科離れ」が報じられている高校生(学生)にとって、研究者との交流を通して、バイオ研究への理解を深め、「バイオ分野」さらには「サイエンス」への一層の理解と魅力を体感できる良い機会となります。また、研究者の発表を間近で見ながら自分の発表を行う高校生は、研究発表の仕方や伝え方などを実践しながら学ぶことができます。さらに、研究者との意見交換を行うことで、日々抱えている研究の問題点などが洗い出され、今後の研究の進め方などを見直す良い機会となり、高校生の研究意識の向上にも繋がります。

一方、研究者自身は、このような場で情報発信することにより、来場者の思いもよらない疑問の投げかけや生の声(意見)によって、新しい発見や発想などが生まれ、今後の研究への活力となります。

【お問い合わせ】
大学院農学研究院教授 久原 哲
電話：092-642-3041
FAX：092-642-3043
Mail：kuhaara@grt.kyushu-u.ac.jp

九州大学は
2011年に
100周年を
迎えます



KYUSHU UNIVERSITY 100th 2011
知の世紀を拓く

